

1	事業名称	信州高遠アセアン加盟国中学生招聘交流事業			
2	新規・継続	継続	3年目		
3	趣 旨	アセアン諸国で日本に興味関心のある中学生を招聘，国立青少年教育施設を拠点に地域の特性を生かした自然体験・文化体験・日本の青少年との交流体験を通して，日本に対する理解の増進を行う。また，日本の青少年に対して国際的視野の醸成・次世代リーダー（地域の課題に取り組める青少年）の養成を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
			11月24日（木）	～	12月4日（日）
					10泊11日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	21人 中学生シンガポール・ミャンマー・ブルネイ 各国6名 引率1名 計21名			
7	共催・協力・後援	伊那市，伊那市教育委員会			
8	参加者人数	アセアン中学生17名 引率3名 計20名 日本人中学生交流実行委員会21名 高遠中学校生徒140名 春富中学校生徒450名 日本人大学生（通訳ボランティア）6名（事業運営・支援ボランティア）1名			
9	参加者類型	シンガポール・ミャンマーの中学生各6名，ブルネイの中学生5名及び引率者3名 中学生交流実行委員会21名 高遠中学校全校生徒140名 職員20名 春富中学校全校生徒450名 職員30名 日本人大学生 神田外語大学6名 上越教育大学1名			
10	参加者地域	アセアン中学生 シンガポール，ミャンマー，ブルネイ 日本人中学生 長野県伊那市（伊那市立高遠中学校・伊那市立春富中学校） 日本人大学生 千葉県，新潟県			
11	参加者分析	招聘参加者は，英語を話すシンガポール・ミャンマー・ブルネイの中学生各5～6名で，当機構の選考基準をもとにBAJA（ブルネイ日本留学生協会），JUGAS（シンガポール留日大学卒業生協会），MAJA（ミャンマー元日本留学生協会）が募集及び選考を行う。日本人中学生は，高遠中学校の1年生から3年生までの各クラスから1名と生徒会役員2役の計8名，春富中学校の3年生から13名を交流実行委員として選考する。			
12①	アンケート満足度（アセアン中学生）	満足	やや満足	やや不満	不満
		100%	0%	0%	0%
12②	アンケート満足度（日本人中学生）	満足	やや満足	やや不満	不満
		100%	0%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	※アンケート記述内容にはアセアン招聘中学生と日本人中学生の両方を記載 ・高遠中学校との交流はとてもよかった。ミャンマーに帰ってからも交流を続けていき，高遠中学校や伊那市との関係を深めたい。ミャンマーにも是非高遠中学校の生徒に来てもらいたい。 ・信州高遠の人や文化に触れて，信州大学に私も留学したい。 ・今まで知らなくて関わることのなかったアセアンの友達と交流することで，いろいろなことに興味を持つことができた。 ・アセアンの中学生や大学生の通訳ボランティアの人たちを見て，自分も英語がもっとしゃべるようになりたい，将来外国に行きたいという思いを持つことができた。			
14	成 果	・交流実行委員会で自己が居住する地域の魅力や課題，諸外国が抱えている課題について日本人参加者に考えさせてから中学生意見交換会に臨んだ。そのため活発な話し合いが行われ，その内容が学習発表会に十分活かされた。 ・高遠中学校，春富中学校の全面的な協力を得て，2日間にわたり，部活動交流，授業体験，給食・清掃体験，全体交流を行えたことで，招聘参加者は日本の中学校生活を体験的に学び，その理解を深めることができた。帰国後も学校関係者が現地に赴いたり，フェイスブック，メールや手紙での交流が継続したりしている。 ・ホームステイでは，日本の家庭生活，日本人のおもてなしの心に触れる貴重な体験となった。			
15	今後の課題	・本年度は祝日がなく休日が2日間しかないため，招聘参加者と日本人参加者が交流する活動の時間が少なかったことが課題として挙げられる。日本人参加者の外向き志向を更に高めるためには，より多くの時間を共有することが望ましいと考える。アセアンと日本の中学生のコミュニケーションの和を広げることができるプログラム内容や日程について次年度に向けて考える必要がある。 ・他中学へ交流の幅を広げたことで，アセアン中学生と日本人中学生との交流に関わるプログラムの移動距離が大きく増加し，活動時間に若干のロスが生じた。その点については一考を要する。			
16	担当者メモ	・年間事業の中で長期に及ぶ事業であるため，企画指導専門職が数名担当に入り，事業推進係や総務管理係の協力を十分に得る中で意図的・計画的に事業を推進していくことが望ましい。 ・予算計上及び執行にあたっては遺漏のないように十分に留意し，根拠書類等の準備を怠らないように進めていきたい。 ・事業計画の段階で，交流実施中学校の年間行事等を十分考慮しつつ，中学生交流実行委員会の実施時期や運営方法について検討していく。 ・医療機関にかかった招聘参加者の保険の手続きに時間がかかる。事業の始まる前に保険の申請書類を用意しておくことよい。 ・引き続き通訳をこなす能力を持つ大学生ボランティアの確保に努めていく。			

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業			
日程・時間	プログラム	担当（講師等）	
11月24日（木）			
1 日 目	午前	入国，羽田空港到着 担当迎え	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	国立信州高遠青少年自然の家に移動，諏訪大社秋宮参拝	国立信州高遠青少年自然の家職員
	夜	入所案内，オリエンテーション	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月25日（金）			
2 日 目	午前	伊那市長・教育長表敬訪問	伊那市教育委員会学校教育課 北野浩幸課長
	午後	第1回 中学校訪問（部活動交流）	伊那市立高遠中学校，伊那市立春富中学校
	夜	ウエルカムパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会
11月26日（土）			
3 日 目	午前	中学生意見交換会（高遠中学生，春富中学生）	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会
	午後	ホームステイ家族との対面	ホームステイ各家庭
	夜	ホームステイによる日本の生活体験	ホームステイ各家庭
11月27日（日）			
4 日 目	午前	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	午後	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	夜	中学生との交流準備	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月28日（月）			
5 日 目	午前	高遠町歴史博物館見学（地域の歴史・文化体験）	高遠町歴史博物館 笠原千俊館長
	午後	松本城見学（日本の歴史・文化学習）	国立信州高遠青少年自然の家職員，アルプス善意通訳協会
	夜	中学生との交流準備	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月29日（火）			
6 日 目	午前	第2回 中学校訪問（授業，給食体験）	伊那市立高遠中学校，伊那市立春富中学校
	午後	〃（清掃体験，学年・全体交流会）	伊那市立高遠中学校，伊那市立春富中学校
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月30日（水）			
7 日 目	午前	信州大学農学部訪問（日本語補講，留学生との交流）	信州大学農学部 小野珠乙教授，信州大学学務グループ
	午後	もちつき体験（日本の食文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員，研修指導員
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
12月 1日（木）			
8 日 目	午前	駒ヶ岳ロープウェイ，千畳敷カール雪山体験（日本の自然体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	駒ヶ根シルクミュージアム見学・体験（日本の文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員，駒ヶ根シルクミュージアム 関宏夫館長
	夜	フェアウエルパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会
12月 2日（金）			
9 日 目	午前	荷物整理，退所，東京へ出発	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	各国大使館訪問，留学生講話	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜	交流会	国立オリンピック記念青少年センター職員
12月 3日（土）			
10 日 目	午前	学習発表会	国立オリンピック記念青少年センター職員
	午後	都内自主見学（アセアン中学生）	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜		
12月 4日（日）			
11 日 目	午前	羽田空港へ移動，出国	国立オリンピック記念青少年センター職員，国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後		

信州高遠アセアン企画委員会		場所
1	6月21日（火） 第1回「交流事業概要，実施計画，各プログラム内容について」	伊那市役所 会議室
2	1月25日（水） 第2回「本年度事業の振り返り，成果と課題，次年度の方向性について」	伊那公民館 会議室

中学生交流実行委員会		場所	指導者
1	7月21日（木）	交流実行委員会発足会（交流事業概要説明）	伊那市立春富中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
	7月25日（月）	交流実行委員会発足会（交流事業概要説明）	伊那市立高遠中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
2	7月29日（金）～ 7月30日（土）	第1回 交流実行委員会【合宿】（アセアン学習会）	国立信州高遠青少年自然の家職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
3	9月28日（水）	第2回 交流実行委員会（意見交換会について）	伊那市立春富中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
	10月5日（水）	第2回 交流実行委員会（意見交換会について）	伊那市立高遠中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
4	10月16日（日）	第3回 交流実行委員会（パーティー企画・運営について）	国立信州高遠青少年自然の家職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
5	11月13日（日）	第4回 交流実行委員会（意見交換会・中学校交流について）	伊那市立高遠中学校職員 伊那市立春富中学校職員
			国立信州高遠青少年自然の家職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
6	12月28日（水）	第5回 交流実行委員会（報告会）	伊那市立春富中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員
	1月17日（火）	第5回 交流実行委員会（報告会）	伊那市立高遠中学校職員 国立信州高遠青少年自然の家職員

○活動の概要

(1) アセアン中学生の日本に対する理解の増進について

①11月24日(木)神社参拝[諏訪大社秋宮] ②11月25日(金)日本文化に関する講義 ③11月25日(金)市長・教育長表敬訪問[伊那市役所]



④11月25日(金)市長・教育長表敬訪問[伊那市役所] ⑤11月25日(金)ウェルカムパーティー ⑥11月26日(土)ホームステイ体験



⑦11月27日(日)ホームステイ体験 ⑧11月28日(月)地域の文化学習[高遠町歴史博物館] ⑨11月28日(月)日本の歴史学習[松本城]



⑩11月28日(月)日本の歴史学習[松本城] ⑪11月30日(水)日本語補講[信大農学部] ⑫11月30日(水)留学生との交流[信大農学部]



⑬11月30日(水)食文化体験[もちつき] ⑭12月1日(木)雪山体験[駒ヶ岳千畳敷] ⑮12月1日(木)蒟玉クラフト体験[シルクミュージアム]



【参加者の感想から】

- 初めての餅つきはとても楽しかった。臼と杵を使った文化はこれからも残して欲しい。
- 雪というものに初めて触った。雪景色はきれいで、一番印象に残った。
- 日本における養蚕、絹製品の歴史を楽しく学ぶことができた。蒟玉を使ったどんぐりのブローチはとても美しく、大事に使いたい。
- ホストファミリーの皆さんに優しくしていただき、素晴らしい時間を過ごすことができた。日本人のおもてなしの心を感じた。

(2) 日本人青少年の国際的視野の醸成・次世代リーダー(地域の課題に取り組める青少年)の育成について

【日本人中学生】

①7月29日(金)実行委員会合宿



②7月30日(土)実行委員会合宿



③10月16日(日)第3回実行委員会



④11月25日(金)ウェルカムパーティー



⑤11月25日(金)宿泊棟での交流



⑥11月26日(土)中学生意見交換会



⑦11月26日(土)中学生意見交換会



⑧11月29日(火)中学校一日体験



⑨11月29日(火)中学校一日体験



⑩11月29日(火)中学校一日体験



⑪12月1日(木)フェアウェルパーティー



⑫12月1日(木)フェアウェルパーティー



【日本人大学生】

①11月24日～26日(通訳ボランティアA日程)



②11月27日～29日(通訳ボランティアB日程)



③11月28日～12月1日(通訳ボランティアC日程)



【日本人中学生の感想から】

- 英語を話したり聞いたりすることに慣れていなかった。もっと英語の勉強を頑張りたいと思った。
- アセアンの中学生や大学生の通訳ボランティアの人たちを見て、自分も英語がもっとしゃべれるようになりたい、将来外国に行きたいという思いを持つことができた。
- 事業に参加したことさらに英語が大好きになった。今後も外国との交流を続けていきたい。

【日本人大学生の感想から】

- 今回の通訳ボランティアとして感じたことは、同時通訳をする中で、その場に合ったわかりやすい言葉に訳すことの大切さである。
- また、長野県の素晴らしい自然と文化も知ることができたり、アセアンや日本人の中学生たちと多く関わる機会を得たりして、貴重な経験をすることができた。また、このような機会があれば是非参加したい。

(3) 高遠中学校・春富中学校との交流を通して

①11月25日(金) 中学校部活動交流 (剣道部)



②11月29日(火) 中学校授業体験 (書道, 和太鼓, 英語等)



③11月29日(火) 給食体験・清掃体験



④11月29日(火) 学年交流 (イス取りゲーム等)



⑤11月29日(火) 全体交流 (高遠中: 合唱・春富中: マーチング&合唱等)



⑥11月29日(火) 全体交流 (シンガポール: ダンス, ブルネイ: 民族舞踊, ミャンマー: 民族舞踊)



【高遠中学生&春富中学生の感想から】

- 今まで知らなくて関わることのなかったアセアンの友達と交流することで、いろいろなことに興味を持つことができた。
- 言語の壁は厚いと感じた。しかし、ジェスチャー等で話を通じた時は、嬉しかった。
- アセアンから来た人に初めて会ったけど、みんな優しく話しやすかった。これらも手紙などで交流を続けていきたい。
- アセアンの人たちは、みんな笑顔で優しい。もっとアセアンの人たちと交流を続けて欲しい。
- アセアンの友達ができて嬉しかった。みんなとても優しい人たちでありがたかった。
- 言葉が分からなくても、表情やジェスチャーなどで通じ合えることを体験したが、アセアンの友達みたいに英語を上手に使いたい。
- 外国の人たちと直接関われる機会は、この交流でしかまだ経験したことがない。他の国の人と仲良くなれる場を提供してくれたことに感謝している。

(4)東京プログラム 学習発表会から

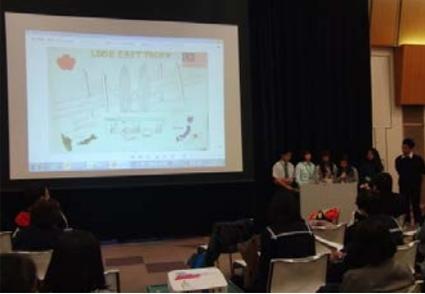
①12月3日(土)学習発表会 (オリンピック記念センター)



シンガポール・ミャンマー・ブルネイ・マレーシア・フィリピンのアセアン5か国と、信州高遠青少年自然の家(高遠中【2名】、春富中【2名】)、花山青少年自然の家(栗原西中【1名】、栗駒中【1名】)が参加。



◎マレーシアの発表



◎フィリピンの発表



◎花山の発表



意見交換会での内容を踏まえて『自国の課題を解決するための方策(プロジェクト)』を考案し、発表した。

◎ブルネイの発表



◎ミャンマーの発表



◎シンガポールの発表



各国とも自国の課題を解決させるための自分たちができるプランを提案した。ポスターで通知したりイベントなどでのメディアへの呼びかけをしたり等、様々なアイデアが披露された。

◎高遠中学校&春富中学校発表「Make the future together」



【伊那市立高遠中学校・春富中学校交流実行委員の発表内容とその考察】

中学生意見交換会の際に話し合った内容を踏まえ、これからアセアン諸国と日本(伊那市)が未来につながる交流を続けていくための案として高遠中・春富中プロジェクト「Make the future together」を作成した。日本人中学生が感じる伊那市の課題は、観光資源が多いのに普段の生活の中で外国との関わりがほとんどなく、そのため英語を使う必要性を感じる機会が少ない。英語を話せなくても問題ないという中学生が多いということである。

互いの国(地域)の魅力、課題について深く話し合った中学生意見交換会や今回の交流を通して、日本人中学生は自分たちの課題を解決するための思い「交流国の人もっと話をしたい!お互いのことをもっと知りたい!」をもつことができた。本年度の中学生交流実行委員のメンバー達は、その思いを実現していくために自分たちがこれからできることとして次の4点を考えた。1点目は、コミュニケーション力を身に付ける。2点目は、英語力の向上を図る。3点目は今後アセアン各国の情勢にも興味を持って日々を過ごしながら、異文化について関心を持ち理解していく。4点目は連絡を取り合い、将来的に会いに行く。そして今できることとして、スカイプを通して各国と意見交換をしたり、年賀状や手紙を送り合ったりして、つながりを持ち続けていくことを発表した。そうすれば、アセアン諸国と日本(伊那市)が未来につながる交流を今後も続けていけると考えることができた。

自分たちが住んでいる地域の課題や、日本を取り巻く諸外国が抱える課題について、日本人中学生がここまで深く考える機会はない。本年度の当事業は、海外青少年の日本に対する理解増進はもちろん、日本人中学生が自分たちが感じる地域(伊那市)の課題に対して向き合い、解決策を考え課題に取り組んでいくという意味合いも色濃く出た素晴らしい事業であったと感じている。春富中学校が交流中学校として参加したことで国際交流に臨む中学校の広域化が図られたので、次年度は、本年度実施した内容を更に深めると共に、継続性(つながり)を大切にしたい事業を推進していく予定である。

(担当:企画指導専門職 田中 郁夫)